

# 1回戦

2014 年度春季リーグ

第5週 5月6日

0勝1敗

## ミスで招いた4失点、 無念の完封負け

### 国学大 4 - 0 駒大

国学大	000	101	020	4
駒大	000	000	000	0

7回裏、これまでのインニングで3安打に抑えられていたが、代打出場した川合祥太郎(法2)は「思いきったプレーで、流れを呼びたい」と語った通り自身リーグ戦初安打を放つ。だがなかなか流れを変えることが出来ない。8回にも1点を失い、追加点を抑えたい状況だったが下川知弥(営4)の失策

序盤、先発・今永昇太は順調な滑り出しを見せる。だが4回表、四球と前田滉平(法3)の失策により三塁に進塁した走者が本塁に帰り、先制を許す。さらに6回、2者連続の四球と、暴投で2死二、三塁とする。続く打者の適時内野安打で1点を献上。

国学大との初戦、相手投手、そして強固な守備陣によってしっかり抑えられる。小さなミスで招いてしまった危機の連続により、無念にも完封負けという結果に終わった。

	打安点
(8)江越	400
(5)6砂川	210
(4)前田	310
(6)下川	400
5巻	000
(9)斎藤	410
(3)福山	300
DH米満	200
HD川合	110
PR福山慎	000
DH山口	100
(7)長谷川	310
(2)高橋亮	200
計	2950

  

	回	打安責
●今永	72/3	3472
高橋涼	1/3	100
中川源山	2/3	500
中	1/3	100



攻守に挽回を図れなかった

で2死一、二塁に。適時打を打たれ、さらに点差を広げられる。9回には二塁手と左翼手の度重なる失策によりふたたび2死満塁という危機を招くが、抑えて出場した中山大貴(経1)はこのピンチを無失点で切り抜ける。だがそのまま逆転できず、試合終了。

ミスが無念にも相手の得点につながってしまった。西村亮監督も「打てないというより自分たちでリズム崩しているだけ」と語る。国学大にはこの試合で5連敗中。今回目立った守備陣のミスを無くしていくことで勝利をつかめるはずだ。(高橋成美)

## 失策止まらず、4連敗で優勝消滅

駒大	010	010	000	2
国学大	210	001	100	5

### 駒大1 - 5 国学大

## 2回戦

2014 年度春季リーグ  
第5週 5月7日  
0勝2敗

	打安点
(8)江越	410
(6)砂川	300
(4)前田	210
4奥井	100
DH下川	310
(9)斎藤	310
(3)福山	410
(5)巻木	200
(7)松尾	211
H7川合	100
(2)高橋亮	300
計	2861

  

	回	打安責
●片山	6	3073
高橋涼	1/3	100
箱島	12/3	930

初回、先頭打者に安打を打たれ1死二、三塁の危機、片山雄貴(商3)が暴投で1点を献上する。計2点を奪われ続く2回、福山亮(経4)が中前打を放つと制球不安定な相手先発が2暴投。1死三塁とする捕逸を犯し1点差に。

ふたたび差を広げられ迎えた4回、齋藤導久(政4)が中前安打を放ち2死三塁の好機を迎える。するとリーグ戦初スタメンの松尾昭典(営2)が「緊張したが、打ってホッとした」と右前適時打で1点を追加。だがその後、3回から登板した相手投手に粘りを見せること

失策が敗戦に響いた第1戦から一夜明け迎えた2回戦、守備の乱れを修正することが出来ず、打線も奮起することが出来なかった。無念の敗戦でリーグ戦を4連敗とし、自力優勝が消滅した。



4回に適時打を放った松尾 (撮影：高橋成美)

試合後、西村亮監督は「1つのミスや負けで引きずって自分たちでプレッシャーをかけてしまう」と厳しい表情。失策数は12、チーム打率も204とどちらもリーグワースト。攻守にわたっていかに修正し、次戦を迎えられるかが今後のカギとなる。(文：五十嵐秋音)

が出来ず打線は沈黙。さらに6回、7回では要所で失策が絡み、3失策で2失点。計5失策で4失点が失策絡みの失点となり、昨日の修正が出来ないまま無念の敗戦となった。